

## 令和5年度 修了式 (講話67)

令和6年3月21日【てふてふ2】  
おはようございます。

今朝はとても寒いですね。校長先生の家のあたりは、今年一番、雪が積もってましたよ。まだまだ寒い日が続くようなので、かぜなどひかないよう、ご注意くださいね。

先日、卒業式を無事終えることができ、6年生が卒立っていました。とてもいい式で、5年生のみなさんもよくがんばりましたね。

さて先週のお題は、中学生になったら何がしたいというものでした。友だちと遊ぶ、どこかに行きたいというものが多かったと思います。書いていただいたみなさん、ありがとうございました。

さて、今回は先週の続きで「てふてふ」のお話をしながら、今年度の最後のお話とします。

さて、学校にはいくつか長い休みがありますよね。何休みがありますか？ そう夏休み、冬休み、そして春休み。では、なぜ夏休み、冬休みがあると思う？ そう夏は暑すぎて勉強できないので、夏休み。同じく冬休みも寒すぎるので休みです。では、春休みはなぜあるのでしょうか？ 秋休みがないように、少なくとも暑い、寒いという理由ではないですよね。少し周りの人と聞き合ってみてください。

「1年間よくがんばったから」「進級する準備」などの答えが子どもから寄せられました。すばらしいです。どれも正解ですね。

春休みで、学年が1つあがったり、先生方の移動があつたり、いろいろ変化のある休みです。

そこで、春休みの理由は、蝶々の成長に似ていませんか？ 春休みの理由を考えるときに、幼虫が、蝶々になる前になぜさなぎになるのか考えてみましょう。

そもそもさなぎって何でしょう。幼虫はごはんをしっかり食べて体を大きくします。そして、蝶々は羽があつて空を飛んだり、卵を産んだりできる体に大きく変化します。

そこで青虫から蝶々に変わるために、体をつくりかえるのは大変なので、じっと休む期間としてさなぎがあります。

これを人間に置き換えますと、青虫が1年生したら、蝶々は2年生、その間に力を蓄える期間として春休みがあるのです。

春休みは次の学年に備えて、1年間の反省をしたり、来年度の目標を考えたりするための準備をするお休みなのです。春休みの間に、しっかり反省と目標を考えて、来年度、きれいな蝶々のように進級できますよう、お願ひします。

1年間校長先生のお話を聞いていただきありがとうございました。また4月に会えることを楽しみにしています。